

ふなかわら

第22号

2010年6月25日発行

編集・発行 石井甲一

〒278-8510

千葉県野田市山崎2641

東京理科大学薬学部内

印刷・菅原印刷(株)



薬学部同窓会 石井会長挨拶

CONTENTS

1. 薬学部創立50周年記念 盛会に終わる	2	11. 同窓会だより	16
2. 創立50周年記念によせて（山口 堅志郎）	5	長野での地区交流会のご案内	16
3. 同窓会副会長挨拶（小高 賢一）	6	5期同期会報告	17
4. 学部長挨拶（大島 広行）	7	6期同期会報告	17
5. 平成22年度同窓会総会のご案内	7	13期同期会報告	17
6. 平成22年度「実践社会薬学」の開講およびご案内	8	15期同期会報告	18
7. 薬学講座のご案内	10	平成21年度地区交流会報告（京都）	18
8. トピック	12		
東京理科大学薬学部6年制の長期実務実習		12. 平成21年度同窓会通常総会および講演会について	19
（青山 隆夫）	12	13. 氏名・住所・異動等変更届	21
理科大でホワイトコートセレモニー		14. 平成21年度会費納入状況報告	23
（上村 直樹）	13	15. 会費・寄付納入者一覧	24
9. 卒業生報告	14	16. 終身会員一覧	24
近況報告（藤井 幸子）	14	17. 計報	27
近況報告（伊藤 充朗）	15	18. 同窓会幹事一覧	28
10. 新任の挨拶（浅田 善久）	15	19. 編集後記	28

薬学部創立50周年式典 盛会に終わる

東京理科大学薬学部創立50周年記念式典に参加して

5月16日の日曜日に、東京理科大学薬学部創立50周年の記念式典が新宿の京王プラザホテルにて開催され、薬学部同窓会の会長として出席し、祝辞を述べさせていただきました。

大島薬学部長の開会の挨拶があり、塚本東京理科大学理事長、藤嶋東京理科大学学長の挨拶、そして来賓の祝辞と乾杯があり、懇親パーティーへと続きました。理事長のご挨拶の中で、薬学部は工学部より前に設置されたことが紹介され、恥ずかしながら、私としては初めて知ったところです。乾杯まで来賓席に座っていたのですが、来賓として日本薬学会の松木会頭が出席されていたことは当然だと思いましたが、私の隣の席に、日本学術会議の金澤一郎会長がおられたのには驚きました。理科大薬学部もやるものだと、心の中で喝采を叫んでいました。名刺交換をさせていただきましたが、日本薬剤師会の名刺しかありませんでしたので、同窓会の役員としての名刺も必要だと感じました。

私は理科大薬学部の同窓生を代表してということで、お祝いの挨拶をしました。それまでの挨拶がかなり長かったため、私自身は短めに挨拶したつもりですが、懇親パーティーにおいて、先輩方に、長すぎるとおしゃかりをいたしまいました。

挨拶の骨子は、理科大薬学部の卒業生は様々な職場で大変高く評価されていること、学問のみならず、多くの知人・友人を与えていただいたことなどに対して、理科大薬学部のこれまでの教職員に感謝の気持ちを伝えるとともに、もうお会いできない先生方もおられるることを残念に思うということ、更に、もう一度人生過去のどこに戻りたいかと問われれば、私個人としては、即座に理科大の薬学部時代と答えるといった内容でした。

おみやげの冊子は、すべての卒業生を網羅した沢山の写真で構成されており、誰もが必ずどこかの写真に登場していますので、想い出として貴重なものになるのではないかと思います。

挨拶の最後でもお伝えしましたが、同窓会の役割は、卒業生と大学との橋渡しだと考えており、これからも同窓会の活動をより一層発展させたいと思いますので、多くの同窓生の積極的な参加をお願いし、創立50周年記念式典への参加の報告と致します。

東京理科大学薬学部同窓会
会長 石井 甲一

創立50周年記念式典を終わって

東京理科大学薬学部創立50周年記念式典が平成22年5月16日京王プラザホテルのコンコードボールルームで開催されました。卒業生395名、新旧職員48名、来賓127名もの参加を得て、盛会にて終了することができました。同窓生の皆様には遠方よりご参加いただきましたことに感謝申し上げます。また今回は残念ながら参加できなかった同窓生の皆様には、ご協力に感謝するとともに、この「ふななかわら」にてご報告申し上げます。

私は1年前の平成21年1月に大島学部長から薬学部が創立50周年を迎えることを聞き、実行委員会を結成して準備を進めるようになりました。日程、会場、会費などいろいろな意見がございましたが、薬学部がこのような式典を実施していないかったことやおそらく一生に一度の式典になることを考慮して、盛大な式典にしたいと考えました。幸いにも大学本部や薬学部同窓会などからの多大なご支援をいただき、立派な式典にすることができました。何人の来賓の挨拶が続き乾杯までが長かったと言う声を聞きますが、理科大薬学部が薬学・薬業界にとって大きな存在であることを示しているためと思っております。

会場には2基の巨大スクリーンを用意して、理科大薬学部のあゆみや研究室ごとの写真などを投影してお楽しみいただきました。旧友と再会し、話に花を咲かせることを最大のコンセプトとしたため、鏡開きやコンサートなどのイベントは一切排除して、懇談を楽しんでいただくようにしました。また、記念品として50周年記念誌を用意しましたが、こちらも挨拶や文章を極力減らして、目で見て楽しんでもらうフォトアルバムの形式にしました。船河原時代の校舎や現在の野田キャンパス、各卒業年ごとの研究室アルバムを掲載して、必ずどこかに自分が写っているようにしました。ナツシロギクの可憐で優しい表紙は、おそらく好感を持っていただいたものと信じております。当然ながらナツシロギクは薬用植物で、葉の部分が発熱、偏頭痛、関節痛などに用いられてきたそうです。

次が100周年だとすると私は来世から式典を見守ることになりますが、後輩が立派に引き継いでくれるものと確信しております。そして理科大薬学部が益々発展することを願って止みません。最後に、式典の実行にご協力いただいた実行委員会委員の皆様、増田課長様はじめ薬学事務課の皆様、そして同窓会事務局の富塚様、谷口様に深く感謝申し上げます。

薬学部50周年記念式典実行委員長
東京理科大学薬学部同窓会副会長
上村 直樹



宴を待つ しばし歓談



ご来賓席



会場いっぱいに



開会 大島学部長挨拶



塚本理事長挨拶



藤嶋学長挨拶



旧職員を代表して 星野先生挨拶



現職員を代表して 田沼先生挨拶



恩師を囲んで



●記念式典閉会の あともづく



1期 京王プラザホテル47階「あおぞらの間」



11期 新宿NSビル1F (THE ROSE & CROWN)



創立50周年記念によせて

山口 堅志郎（1期）



定年退職して8年、70才を前にして悠々自適の生活を送っている私は、今年は何をしようかと考えていたところ、同窓会から創立50年記念式典の案内が届いた。また、同期の黒崎君から式典後に同ホテルの別の室で同期会を開くという案内も届いたので、早速、双方に参加することにした。われわれ1期生にとって、入学した年の、下級生のいない我々だけの、理学部とも離れた校舎での生活は、非常に印象的なものであった。だから、50年も経っているのに、この時のことを良く覚えていて、懐かしく思い出されるのである。我々が大学生になったこの年1960年は、日本の歴史にも残る大事な年であった。日米安全保障条約が改正されて、60年安保と言われ、学生運動が最も激しかった年である。死者が出るほどの激しいデモで、社会は騒然としていた。

薬学部の校舎は、地下に階段教室、最上階に体育館のある建物ただ1棟しかなかった。授業料は年間70万円で、他の私立大の薬学部より安かった。それでも、卒業して就職した時の給料が月2万5千円であったから、相当なものである。入学式は体育館で行われ、生徒数は132名で、約2／3が女性であった。入学当初は、授業は基礎科目しかないので、実験室は完成しておらず、先生や助手の方々たちも全部は着任しておられなかった。実験室をのぞいてみるとガランとしていて何もなく、床から竹の子のように給水管、配水管、ガス管が頭を出しているだけだった。授業は全体的なものは階段教室で、英語や独語はA、B、Cの3クラスに別れ、1階の教室で行われた。

自治会や生協の活動は、理学部の方に代表を送って活動したが、女性が多かったせいか総じておとなしく、独自性を保っていた。デモが一番はげしかった頃は授業をとり止めてデモに参加したりしたが、それよりも自分達の廻りの問題に取り組まなければならなかつた。建物が新しいので湿度が高く、環境も変わってくるので、女性の中には体調をこわす人もいた。しかし医務室がないので理学部の方まで連れて行かねばならなかつた。また、薬学部の近くには適当な飲食店がなく、そこで自治会では医務室の設置と、生協によるパン、牛乳を販売する場所を要望した。先生方も積極的に取組んで下さり実現できた。また、階段途中にあった男子トイレを女性用に変えてもらつた。専門の科目が始まると頃には先生方も着任され、実験室も完成した。実験の初めは、納入されたばかりのガラス器具を箱から取り出し、洗浄することから始つた。器具は各研究室のものだったので、新しい科目の実験が始まると箱から取り出し洗浄するという、いつも新しい器具や計器類であった。夏休みには、卒研生もいないので、先生方の研究の手伝いをして休まず学校に通つた者も多かつた。冬にはバスで湯河原へみかん狩りに行った楽しい思い出もある。1年も終り頃になると、2期生が入つてくるので、何か問題がないか自治会で検討したが、内容は覚えていない。この1年間は特異な経験が多かつたのでよく覚えているが、2～4年生の時の事はあまり覚えていない。卒業が近づいてくると、先生方が国家試験の事を心配しておられた。合格率が学校の格付けに影響するというので我々も一所懸命がんばつた。卒業したのは124名で、春の国家試験で2名が不合格であったそうだが、秋の試験で全員合格したと聴いている。

卒業して製薬会社に入った。営業に4年いて、その後研究所に移り新薬の開発と薬事を担当した。入社した時、大学卒の同期の者の多くは薬系であった。会社の先輩の課長や部長、支店長や取締役にも薬大出身が多く、こういった先輩を多く持つ他の薬大出の同期の者がうらやましかつた。学閥はなかったけれど、心細くさびしい気がした。研究所に移つた頃には後輩も多く入社していて、皆評判が良かった。私は自分のためではなく、後輩達のためにも頑張らねばと思い、1期生である事を強く意識するようになった。営業は医療用が主であったが、開発にいる時にOTCの製品を自分で多数用意しておいた。入社後20年目に社長の交代があつて第二営業本部を作つてOTCにも力を入れることになった。私は企画課長として開発、学術、宣伝と営業まで自分が中心になって働いた。この頃になると他社の開発や薬事、営業関係の人とも取引が多くなってきた。そのような人達から後輩達の良い評判や活躍している様子が伝わってきた。では、私の事は後輩達にはどのように伝わっているのだろうか。自分も頑張なければと思い、また、自分に対する評価が学校に対する評価につながるとも思った。その後は企画開発部長を経て取締役で第二営業本部長になることができた。取締役になった時、11人いる中で薬系は1人だった時期が数ヶ月間あった。その時は嬉しかつた。取締役になった事はもちろんであるが、たつた1人の薬系の取締役が東京理科大学薬学部出身であることである。入社した時、学部の先輩はおらず心細くさびしい思いをしたが、これでやっと1期生としての役目をはたす事ができたと思った。しかし、この時まで卒業して36年、学部創立から40年が経つていた。校舎が野田に移り、薬学も6年制になって新しい薬学部の歴史が始まつてゐる。後輩達が輝かしい歴史を作ってくれることであろう。私は東京理科大学薬学部出身であることを誇りに思つてゐる。

同窓会副会長挨拶

独立行政法人国立成育医療研究センター
薬剤部長
小高 賢一（13期）



昨年夏の総会において副会長の指名を受けました13期の小高賢一（おだかけんいち）と申します。現在、独立行政法人国立成育医療研究センター薬剤部に勤務しております。東京理科大学薬学部は創立50周年を迎え記念式典が行われましたが、時を同じくして薬学部同窓会へ関わることができ、大変嬉しく思っています。本稿では、私が理大薬学部を受験した経緯と卒業後の病院勤務について書かせていただき、私の人となりを推察していただければ幸いです。

私は東京都新宿区に生まれ、小・中学校と四谷駅近くの学校に通学し、高校は神宮球場の前にある都立高校へ進学しました。運悪く（良く？）高校2年の時、学生運動が高校へも飛び火し2学期に行う予定であった文化祭の当日、過激派が学校をロックアウトしてしまい、2学期は全く授業が行われませんでした。その後、学生は自然と図書館・自宅学習派と喫茶店・雀荘派の二組に分かれました。言うまでもなく図書館派は東京大学をはじめ国立大学へ多数入りましたが、私は後者でしたので、卒業するまで適当に授業を抜け出し「これが青春だ」と大きな勘違いをしながら高校生活を謳歌しました。

そのためほとんど勉強もせずに、現役の時は恐れ多くも国立大、早慶、理大の工学部等を受験し、すべて不合格であります。二期校の受験日には雪の八ヶ岳を登つておらず、赤岳の中腹で「俺は何をしているのだろう。」と思った記憶が残っています。一浪が決定した時点で就職を含めた具体的な学部選択をする必要があると考え、志望学部の変更も含め検討しました。薬学部を選んだ経緯は日頃からあっちが痛いこっちが痛いと言っている母親の手助けができるかと思い、医学部は無理だが、薬学部ならと考えた結果です。同時に就職先も病院と決めたように記憶しています。理大を選んだ理由は、予備校が市ヶ谷であり、小さい頃から四谷、信濃町と総武線沿線の学校に通学していたこともあり、飯田橋（神楽坂）に親近感を持ったこと、いろいろな人と親交を持ちたく単科大学には行きたくなかったこと、学費が安かつたことなどがあります。しかし、最大の理由は予備校で成績が上がらず若干不安になっていた時、理大薬学部の過去問に挑戦するとほとんどの年度で合格ラインを突破出来たことです。結局、私の2年間にわたる大学受験の結果は、1勝（理大薬学部合格）6敗（不合格）1分（補欠）と散々でしたが、理大合格だけが燐然と輝いており、今でも理大薬学部出身と言う事実が薬剤師としての自信になっております。ちなみに1分（補欠）は当時三軒茶屋にあったM薬科大学でした。

学生時代は山岳部に所属し、たまに授業を休むこともありましたが、割とまじめに過ごし卒業いたしました。4

年時の卒研は久保田和彦先生の薬物学教室に入り、研究にアフター5にと楽しい1年間を過ごしました。久保田先生に就職希望先を聞かれ、「病院」と答えたのに対し、先生は病院希望の学生は珍しいねと言われましたが、直ぐに国立東京第二病院（現国立病院機構東京医療センター）を紹介してくださり、めでたく就職することができました。私が就職した昭和51年頃、理大の学生はメーカー志望が多く、病院薬剤師は少数派でしたが、就職先の病院には大先輩のE先生がいらっしゃいました。当時は朝から晩まで調剤をしていた時代ですが、E先生からは多くのことを学び、今でも実行していることが沢山あります。

国立病院には転勤があり、私が東京第二病院から埼玉、東京の病院を経て、新潟県小千谷市の小さな神経内科の病院へ赴任した時、地元の小千谷市薬剤師会の先生方に暖かく迎えられ、学校薬剤師などのお手伝いをさせていただきました。卒業以来、手にしたことが無かった実験器具を使用しプールや水道の水質検査を行い、市民健康祭りでは薬剤師会の一員としてイベントに参加し、自家製果実酒の試飲を進めたり、薬の相談に応じたりと国立病院の薬剤師では中々味わえない充実した楽しい時間を堪能しました。また、薬剤師が地域住民とふれあい、信頼されることの重要性を学びました。

次の赴任先は長野県小諸市にある精神科の病院でしたが、ここでも地元の小諸・北佐久郡（軽井沢町等）薬剤師会の先生方にご協力いただき、知的障害者の施設などに入所されている方の院外処方せん発行を開始するなど、地域薬剤師会とのいい関係を築くことができました。小諸赴任中の最も嬉しい出来事は近隣の上田市に開局されている1年先輩のI先生にお会い出来たことです。正直、私の薬剤師人生が変わりました。現在、副会長であることや同窓会主催「実践社会薬学」の講師などI先生との出会いで広がった交友関係の賜物だと思っています。卒業後35年あまり経って母校に少しでも恩返しができたことは大変嬉しいことです。

その後神奈川、埼玉の病院を経て現職に就きましたが、国立成育医療研究センターでは小児科、周産期領域において薬剤師がどのように関わられるかを日々考えております。また、小児薬物療法認定薬剤師を立ち上げるべく動いております。

最後に理大にはもう一つ感謝していることがあります。私の妻は理大の同級生です。同級生同士の夫婦はどうしても在学中の成績が家庭での力関係に少なからず影響するため、頭は上がりませんが、まあまあ幸せにやっています。

経験不足の少し軽い副会長ではありますが、今後ともご指導の程よろしくお願ひいたします。

学部長挨拶

大島 広行



同窓会の皆さん、平成18年に第15代の薬学部長に私が就任して以来3年半経ちました。平成18年は薬学部6年制のスタートの年でした。薬学コアカリキュラムや共用試験等、次々と新しいシステムが導入され、学生諸君だけでなく、私たち教員も手探り状態の中を進みました。その間、いろいろなことがありました。そのいくつかを御報告したいと思います。まず、昨年8月に薬学部16号館が完成しました。事前実習実習のための新しい建物です。3階建てで、調剤、製剤、無菌調剤の実習室に加え、講義室、スマートグループディスカッションの部屋、模擬病室等、充実しています。昨年9月2日の薬事日報でも報道されました。一度、見学にお越しください。

そして、今年5月16日に新宿の京王プラザホテルで薬学部創立50周年式典が開催されました。第1期生から第46期生まで、薬学部卒業生は8,272名になります。なお、この式典でお渡しした記念誌はアルバム形式で研究室の集合写真を集めたものです。卒業生の皆さんの若いときの写真です。あいにく式典に参加されなかった方々も記念誌を購入できますので、お問い合わせください。

さて、今年の1月には、6年制学科である薬学科の学生が4年生になり、共用試験が初めて実施されました。この共用試験は筆記テストであるCBTと実技のテストであるOSCEからなります。CBTはComputer based testingの略であり、実際には、試験用紙に鉛筆で解答するではなく、各受験生の前にあるパソコンの画面を見ながらマウスで正答をクリックするというものです。CBTのシステムの開発は、わが東京理科大薬学部の宮崎教授に

よって開発され、そのサーバーは理科大薬学部内に設置されています。一方、OSCEはObjective Structured Clinical Examination（客観的臨床能力試験）の略で、実技試験によって薬剤師としての基本的な技能・態度を評価する臨床能力試験です。ここでは、実際に調剤業務や模擬患者と向かい合って服薬指導を行うことから、基本的な知識・技術・態度が身についているかを問います。このとき、薬学部の教員は評価者となって、OSCEの採点を行いました。これも、教員にとっては初めての体験でした。

こうして、東京理科大薬学部では、1月9日にCBT試験、1月30日にOSCEの試験が行われました。薬学科4年生74名はCBT試験もOSCE試験にも全員出席することができたことに加えて、どちらの試験にも受験者全員が合格しました。新型インフルエンザの猛威を振るう中の共用試験の実施で、試験が無事終わりほっとしております。全員、共用試験に合格した薬学科の学生諸君はこの4月に5年生に進級しました。いよいよ大学の外の病院と薬局で半年に及ぶ長期実習が始まります。

一方、研究者養成を目的とする4年制学科である生命創薬科学科（定員100名）が初めて卒業式を迎えるました。卒業生のほぼ全員が大学院に進学し、さらに、その中の約80名の諸君が、平成22年4月にスタートした本学の新しい大学院である薬学研究科薬科学専攻に進学しました。

薬学部創立50周年を経て、次の50年の第一歩を皆さんとともに踏み出し、新しい薬学部の歴史を作っていきましょう。

平成22年度東京理科大学薬学部同窓会総会のご案内

本年度の同窓会総会を下記にて開催いたします。

■日 時：平成22年8月7日（土）

■場 所：理窓会館 第3会議室 4F

同窓会総会を上記会場で開催致します。今年は講演会、懇親会はございません。

■次 第：16:00～17:00 同窓会総会

平成22年度「実践社会薬学」の開講

「実践社会薬学」も15年目を迎えました。本年度は、5月22日よりスタートいたします。スケジュールは以下の通りです。

講師としてご協力いただける卒業生の数・業種も増え、講義にも厚みが増して参りました。

例年通り、最終日7月10日には懇親会が予定されています。

当日の行政の担当者だけでなく、病院、薬局、企業の

担当者にも参加していただく予定です。

諸先輩の方々の社会での経験・生きた情報は、現在の学生にとって貴重な情報源です。講師以外の同窓生の懇親会のご出席もお待ちしております。なお、同窓生は講義の見学ができますので、懐かしい友人・後輩・先輩の名前を見つけた!など、何かきっかけを作り、是非、足をお運びください。

平成22年度「実践社会薬学」予定表

曜	時間	講師名	所属	期	タイトル	内 容
導入	13:00 ~ 13:20	石井 甲一	薬学部同窓会会長	11	挨拶 (実践社会薬学と同窓会について) 実践社会薬学オリエンテーション	
	13:20 ~ 14:50	水 八寿裕	アボプラスステーション	30	薬局ソト話 -あなただけにソット教えます	薬局にこもっているだけが薬局薬剤師の仕事ではありません。薬局の外にもたくさん活躍する場があります。授業を聞いたあなたにだけこっそりと教えます。
	14:50 ~ 15:05				休 憇	
	15:05 ~ 15:50	中井 用子	カワチ薬品	38	薬剤師存亡の危機 セルフメディケーション	法律の改正で、薬剤師以外の資格でくすりを販売することができてしまいます。薬剤師の存亡をかけた戦いがドラッグストアでは繰り広げられています。
	15:50 ~ 16:10				質疑応答	
	13:00 ~ 14:30	飯島 康典	飯島薬局	12	保険薬局って、超クール!!	保険薬局は单にくすりを揃えて、「お大事に」と言っているところではない。薬局の機能や薬剤師業務全般について解説します。
	14:30 ~ 14:40				休 憇	
	14:40 ~ 15:25	菊池 且行	丘の上薬局		起業家集まれ! 薬局経営はチョー楽しい!!	薬剤師の唯一の独立の場、薬局を開設するには、どうしたら良いのか?地域に信頼される薬剤師となつて、地域医療に貢献する薬剤師、薬局の全てをお話します。
	15:25 ~ 16:10	小松由美子	ウェルシアせんげん台薬局		これが目に入らぬか!! 患者の分身!おくすり手帳	どんな時でも、安全にくすりを飲んでもらう。この目的のために「おくすり手帳」があります。手帳を使った様々な情報管理から、薬局における薬歴管理までわかり易く解説します。
	13:00 ~ 13:45	桑原 翠	水戸中央病院	42	「病院薬剤師の業務変遷と現状」 中小病院での病院薬剤師のお仕事は…! 一日、一週間、一ヶ月	病院薬剤師の仕事内容はここ何年間で急激に増えています。薬剤師達がどのように多くの業務を毎日行っているかを、実際の苦労も含めてお話しします。そして、薬剤師たちの日常生活にも仕事の内容が色濃く出てきます。
病院	13:45 ~ 14:30	山浦 佳子	虎ノ門病院	41	婦人科疾患に対する薬学的ケアについて、概念から実践までお話をさせていただきます。	婦人科疾患に対する薬学的ケアについて、概念から実践までお話をさせていただきます。
	14:30 ~ 14:40				休 憇	
	14:40 ~ 15:25	大槻 千遥	聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院	41	「病院における薬剤師と患者さん」会話の大切さ!ベッドサイドの薬剤師!	病棟での薬剤師の仕事は、薬物療法が適切に行われているかを専門家として見守ることにあります。薬剤師は患者さんとのいろいろな話の中から見つけられるものがあります。とても大事なものです。
	15:25 ~ 16:10	西村 美子	国立がんセンター東病院	43	「がん専門薬剤師とその必要性」(仮題) がん専門薬剤師って……何? 普通の薬剤師とどう違うの?	最近は薬剤師にも専門性が強く望まれて来ました。病気についてかなりのことが分かってきたこともありますが、病気と薬の両方を知ることで薬物治療の効果が飛躍的に上がるからです。多くの医療職の中で薬のプロである薬剤師が病気のことを深く知ることが最も効率的であったようですね。
	13:00 ~ 13:45	佐藤 和樹	栗橋病院	41	「パンデミックを防げ!感染制御における薬剤師の役割とは」(仮題)	当院の感染制御チームはここ数年でかなり活動的になりました。その中で薬剤師に求められることはたくさんあります。当院での実例をもとにお話できたらと思います。

病院	6月12日	13:45 ~ 14:30	河野美那子	東大医科学研究所付属病院	41	「薬剤師が係わる病院での臨床試験」(仮題) 治験でなあに?病院で行う治験は誰のため!	新薬開発の最終段階、病院で行われる治験の実際はどのようなものであるかを、臨床研究コーディネーターを務める薬剤師の立場から紹介します。また臨床研究コーディネーターを薬剤師が務める際の役割について実例を挙げて解説します。
		14:30 ~ 14:40				休 憇	
		14:40 ~ 15:25	小高 賢一	成育医療センター	13	「薬剤部長の業務」 薬剤部長は、いつも何しているの?	薬剤部も病院の中の一部署です。その長である薬剤部長は薬の採用、事故の防止などの仕事を担っています。普段ではなかなか聞けない病院の裏話が飛び出します。
企業	6月26日	15:25 ~ 16:10	若手薬剤師		-	若手薬剤師を囲んで「薬剤師になったおもしろさ」Q&A集	若手の薬局薬剤師、病院薬剤師に集合してもらい、受講者のあらゆる質問に答え、非社会人の甘さを切る!
		13:00 ~ 13:45	若松 正克	新日本科学	26	企業の部 はじめに…と (開発) 医薬品開発担当者(モニター)と いうお仕事 -臨床試験に係る情報交換の主役-	新医薬品を速やかに上市し、疾病に苦しむ人々の医療に貢献するという業務があります。新薬開発や既承認薬の適応拡大などに大きく携わる医薬品開発担当者(モニター)の業務内容について紹介します。
		13:45 ~ 14:30	田口 伸行 木村 幸世 中村 宏 中西 国彦 吉田 雅人 若松 正克	アステラス製薬 万有製薬 ディーエイチシー シミック クインタイルズ 新日本科学	39 26 23 27 21 26	薬の誕生、臨床へのステップ、そ してその後…(前編)	薬は、その素となる化合物が研究所で生まれ、非臨床試験、臨床試験を経て規制当局で承認されてから販売されます。その薬の半生を寸劇で、解説を交えながら紹介します。
企業	7月3日	14:30 ~ 14:40				休 憇	
		14:40 ~ 15:25	田口 伸行 木村 幸世 中村 宏 中西 国彦 吉田 雅人 若松 正克	同上	39 26 23 27 21 26	薬の誕生、臨床へのステップ、そ してその後…(後編)	上記の後編です。
		15:25 ~ 16:10				Q&A 質疑応答を受け付けます。	
行政	7月10日	13:00 ~ 13:45	中野 正吾	テルモ	23	(医療機器・薬事) 医療機器の臨床試験 -具体的な事例を中心に-	機器というと堅苦しい響きがありますが、例えば、身近なところでは“体温計”、そして“心臓カテーテル”も医療機器なんです。医薬品あるいは医療機器の申請業務の話を交えて紹介します。
		13:45 ~ 14:30	田口 伸行	アステラス製薬	39	(営業) MR(医薬情報担当者)のここでし か聞けない本音話	MR(医薬情報担当者)の一日常…「嬉しかったこと」「辛かったこと」に加え、あまり大きな声で言えないような裏話を紹介します。
		14:30 ~ 14:40				休 憇	
行政	7月10日	14:40 ~ 15:25	中村 宏	ディーエイチシー	23	(一般薬・サブリメント) 身近なクスリ・大衆薬とは	皆さんがTVCMでおなじみのOTC医薬品やサブリメントは、どのように開発され、市場にだされいくのか、またOTCメーカーでの薬剤師の仕事は?などについて、医療用医薬品とは一味違ったOTC医薬品の姿を紹介します。
		15:25 ~ 16:10	樽野 弘之	第一三共	23	(製薬会社・全般) 製薬会社は、他にもいろんな仕事 があるんだよ!	製薬会社には、研究、MR、開発、以外にもいろいろな仕事があります。第一三共を例に、どんな仕事があるのか、どのようなキャリア・ステップで、どのような仕事に就けるのか、教えてやります!
		13:00 ~ 13:45	高橋 智至	日本薬剤師会		薬剤師の仕事を支援しています。自分の仕事を聞いていただきます。	
行政	7月10日	13:45 ~ 14:30	半田 恭子	東京都庁 福祉保健局 多摩立川保健所 生活環境安全課 薬事指導係	40	東京都庁に勤める薬剤師って何 しているの?	薬学部を卒業して東京都に勤めるとどのような仕事をするのか、予想もつかないと思いますが、意外と身近な仕事なんです。その内容をわかりやすく解説します。
		14:30 ~ 14:40				休 憇	
		14:40 ~ 15:25	清水 忍	医薬品医療機器 総合機構新薬 審査第一部	31	新薬の効き目や安全性のチェック はどうなっているのだろう。新薬 の承認審査という仕事。	新薬が販売される前に、国でその効き目や安全性についてチェックしますが、どのようなことをしているのか。その内容をわかりやすく解説します。
懇談会	7月10日	15:25 ~ 16:10	佐々木正大	環境省環境保健部 保健業務室 (環境省環境保健部 保健業務室) (厚生労働省から 環境省へ出向中)	32	厚生労働省に勤める薬剤師って何 しているの?	薬学部を卒業して厚生労働省に勤めるとどのような仕事をするのか、テレビ、新聞、ワイドショーなど身近な話題、聞いたことのある話題からその内容をわかりやすく解説します。
		16:30 ~ 18:00	参加可能講師陣			講師陣と受講者の懇談会	質問できなかったことの最終確認・討論

第26回 薬学講座 開催要項

期 日	平成22年10月16日（土）
時 間	10：30～17：00（10：00 受付開始）
定 員	240名
場 所	東京理科大学神楽坂校舎1号館17階（記念講堂）
参 加 費	2,000円（講演要旨代を含む） ※昼食代は含まれておりません。なお、学生食堂は営業しております。
主 催	東京理科大学薬学部
共 催	東京理科大学生涯学習センター 東京理科大学薬学部同窓会 財団法人日本薬剤師研修センター

●開催の趣旨●

薬学部6年制が導入されて丸4年、新カリキュラムによる講義や事前実習の実施、また昨年度は実務実習のためのCBT（コンピューターベースドテスト）やOSCE（客観的臨床能力試験）を経験し、本年度はいよいよ病院、薬局での実務実習が開始されました。すでに学生を受け入れている病院、薬局の薬剤師の先生方も多く、指導で苦労されたり、学生の新鮮な言動に刺激されることもあるかと思います。学部5年生にとってはもちろんのこと、現場の薬剤師や大学教員にとっても初めての経験であり、長年の準備期間を経て、火ぶたを切った今年は、正に「実務実習元年」と言えるかもしれません。また、この「薬学講座」も昨年、四半世紀の節目を迎えて、今年度は新たな一歩ともいえます。この様に、いろいろな意味で新たな局面を迎えた中、本講座も生涯学習の一環として、益々現場薬剤師、また医療関係者の皆さまの一助となることを願いつつ、今回もいろいろな切り口から、4つの講演を用意致しました。

先ず、6年制教育に関する「理科大薬学部における6年制教育の現状」を皮切りに、医療現場で切実な問題である「慢性腎臓病（CKD）患者に対する薬物療法」、また、がんに関しては「変わりゆくがん医療での新しい薬剤師の役目：国立がん研究センター東病院の挑戦事例」と「がん対策基本法施行と緩和ケア推進」に関する話題を、それぞれの分野の第一線でご活躍の講師の先生方に、講演をお願いしました。是非、奮ってご参加ください。

●講座のお申し込み方法について●

原則、インターネットでのお申し込みのみとさせていただきます。インターネットがご使用になれない方は、東京理科大学生涯学習センターまでお問合せください。

インターネットによるお申し込み

- ① 東京理科大生涯学習センターのホームページからお申し込みください。
<http://www.tus.ac.jp/manabi/>

受付結果の送付

- ① お申し込み受理後、受付結果兼受講証（払込用紙含む）を郵送でお送りいたします。
- ② 定員に達し、受講できない場合も受付結果はお知らせいたします。

受講料の振り込み

- ① 受付結果兼受講証が届いた日から1週間以内にお振り込みください。

講座受講

- ① 払込受領証を貼付した「受付結果兼受講証」をご持参の上、会場にお越しください。

第26回 薬学講座プログラム

(司会 砂金 信義)

実行委員長 廣田 孝司

薬学部長

10：30～10：35 開会の辞

10：35～10：40 学部長挨拶

10：40～11：50（座長 砂金 信義）

「理科大薬学部における6年制教育の現状」

東京理科大学 教授 小茂田 昌代

<11：50～12：50 昼食・休憩>

12：50～14：00（座長 太田 隆文）

「慢性腎臓病（CKD）患者における薬物療法のポイント」

医療法人仁真会白鷺病院 薬剤科主任 古久保 拓

<14：00～14：15 休憩>

14：15～15：25（座長 早川 洋一）

「変わりゆくがん医療での新しい薬剤師の役目」

国立がん研究センター東病院の挑戦事例

国立がんセンター東病院 院長 江角 浩安

<15：25～15：40 休憩>

15：40～16：50（座長 樋上 賀一）

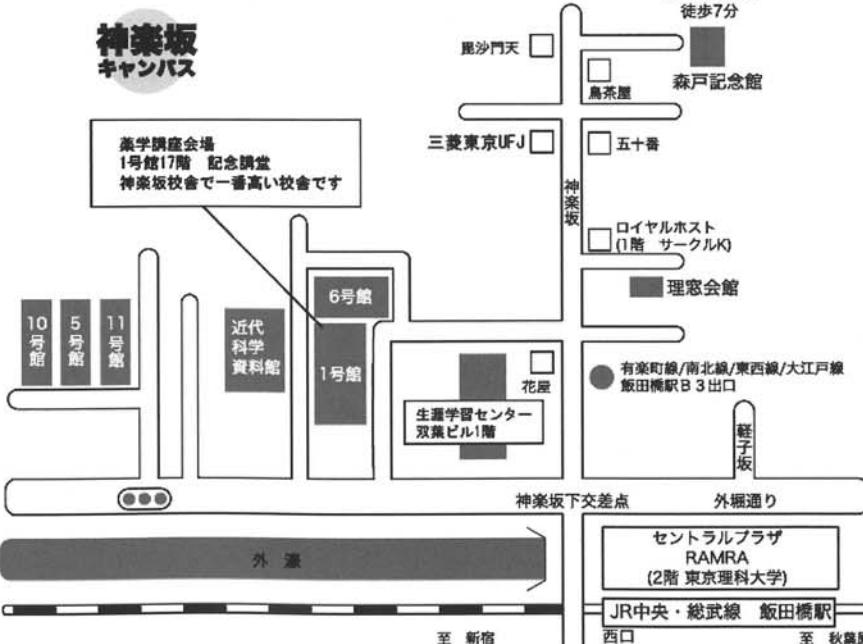
「がん対策基本法に基づく緩和ケア推進計画の今後の流れ」

国立がん研究センター研究所 がん患者病態生理研究部 部長 上園 保仁

16：50 閉会の辞

実行委員長 廣田 孝司

※今回の薬学講座は日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師制度の認定対象研修会であり、参加される場合は、3単位の修得となります。
ご希望の方は、当日会場にて受講シールをお受取りください。
なお、途中入退場者にはお渡し出来ません。実質4時間30分を受講した方に受講シールをお渡します。



お申し込み先

東京理科大学生涯学習センター

〒162-8601 東京都新宿区神楽坂1-3

TEL: 03-3267-9462 FAX: 03-3267-2048

E-mail: manabi@admin.tus.ac.jp

URL <http://www.tus.ac.jp/manabi/>

トピック

東京理科大学薬学部 6 年制の長期実務実習

薬学部教員 青山 隆夫 (17期)



日本の薬学教育は平成18年度入学の学生から、多くの大学で薬剤師養成を目的とした6年制が主体となった。薬学教育6年制とは、学校教育法第55条第2項に「臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とする」と示されるように、薬剤および疾患の知識や調剤技術はもとより、倫理観、コミュニケーション能力を備えた、医療に貢献できる真の医療人としての薬剤師養成を目指すもので、6年間の課程を必要とする。この制度改正の中で、本学は、薬剤師養成を目的とした薬学科（6年制、定員80名）と研究者養成を目的とした生命創薬科学科（4年制、定員100名）の2学科に再編した。

1. 薬学教育 6年制の薬剤師養成教育

従来の旧4年制の臨床実習は、病院が4週間、薬局が2週間であり、大学によっては必修ではないため（本学も）、薬剤師業務を経験していない者に薬剤師免許を与えるという問題があった。このような状況では、日進月歩の医療に薬剤師が十分に対応することは困難であり、現場の薬剤師、行政、そして国民の強い要望により6年制への移行が決定され、臨床系の講義や実習を多く含むカリキュラムが構築された。

本学の6年制のカリキュラムでは、薬剤師の実務を学ぶ実習として、4年次に学内で行う3ヶ月間の「医療薬学実習」、5年次には各11週間の病院と薬局での長期実務実習として「実務薬学実習」がある。医療薬学実習は2009年7月に竣工した薬学部16号館の実習施設を主に使用している。他大学に負けない広さと設備を誇り、実習内容には、注射薬を含めた調剤業務（疑義照会、計数調剤、計量調剤、服薬指導など）、臨床薬剤師業務、薬品情報提供業務、および製剤業務などのすべての薬剤師業務について、本学の学生のレベルに合わせて基礎から応用まで幅広く盛り込んでいる。

2. 長期実務実習

長期実務実習は、薬学教育6年制の最も特徴的な科目であり、6年制第1期生の実習が行われる平成22年度は、1期（5月17日～7月30日）、2期（9月6日～11月19日）、3期（1月11日～3月25日）の3つの期のうち、各学生は2つの期で実施する。実務実習の内容は従来の「見学

とが条件となっており、実習の質が担保されている。また、6年制の実務実習では、実習内容が参加型であること、長期であるため種々の問題が実習期間中に発生することが考えられる。実習が円滑に進むように大学と医療施設が緊密な連絡をとりあうことが重要となり、施設への教員の訪問や、メールやインターネットを使用したツールを用いてのやりとりが頻繁に行われる。本学では、本学を中心¹に9薬系大学と富士通（株）で共同開発した「実務実習進捗ツール」を使用し、学生、指導薬剤師および大学担当教員の3者間をWebで繋ぎ、実習進捗状況や学生情報を交換する方法を採用して効率化を図っている。

この5月から、初めての長期実務実習が開始されてい

トピック

理科大でホワイトコートセレモニー

上村 直樹



5月8日（土）東京理科大学薬学部においてホワイトコートセレモニー（白衣授与式）がおこなわれた。実務実習に出る5年生74名に対して大学のロゴ入り白衣が授与されました。

式典では学生全員が登壇して「誓いの言葉」を齐唱し、その後ひとりひとりが実習に臨む決意を宣言して降壇するといったユニークなものでした。参加した父兄の中には涙ぐむ者もいました。同大学理事長の塚本桓世氏は「この白衣は実験で使用する白衣とは違う、医療人として心を切り替える白衣である」と挨拶し、学生も真剣に聴いていた。また4年生全員を式に参加させ、来年度に向けてモチベーションを刺激しました。

昔から看護学校では戴帽式やナイチンゲール祭というのがあります。戴帽式では看護学生から看護師への意識

る。実習生をお受け下さる施設の本学OBには、厳しさの中にも愛情ある御指導を、さらには、日本の新しい医療を支える本学の薬剤師の養成に御協力を願いしたい。



近況報告

元ノバルティスファーマ株式会社
循環器事業部マーケティング部長
ダイバーシティ推進室長
NPO 法人 GEWEL 理事

藤井 幸子（6期）



私は約40年前に東京理科大学薬学部を卒業しました。その後、ライオン油脂の研究所に2年半勤務した後スイスの製薬会社にやっと職を見つけて再就職し、定年まで勤めました。

製薬会社在職中は医薬情報、安定性試験を経て、マーケティング（プロダクトマネージャー）の仕事を20年経験し、最後はダイバーシティ推進室を立ち上げ2年間活動後退職しました。マーケティングはとてもエクサイティングな仕事で、二つの新製品を上市し、一つはロックバスターにまでなり、それなりの成功を収めました。

退職後は、最後の仕事の継続で、ダイバーシティ＆インクルージョンの推進をしているNPO法人で活動しています。この5年ほど、日本でも大企業ではダイバーシティ＆インクルージョンを推進し、多様な人材を企業の持続的成長につなげようという動きが活発になっています。

私が退職後もダイバーシティ＆インクルージョンを推進したいという想いにいたった理由は、いくつかあります。

- 組織の中で、いろいろな人が関わってそれぞれの強みを出し合い、大きな目標に向かって活動することの、ダイナミックさや面白さに気づいたこと。
- これを実行するには大きな目標が、関係している人に理解され共感されていることが先決です。ある意味で理想的なリーダーシップのもとに、組織が運営されリードされることが必須であると気づいたこと。
- 組織では、その目標達成に貢献することが大切ですが、その構成員の人生も豊かなものであることが大切です。個人の能力（個人の成長）を伸ばすことが組織の持続性につながること。モティベーションをあげるために、個人の成長を実感できることが不可欠です。
- 人口の半分を占める女性の活躍が、企業組織内ではまだまだ進んでいないこと。特にヘルスケアの現場では、女性の活躍が不可欠であるにもかかわらず、意思決定レベルはほとんど男性で占められていること。など。

グローバル企業で働いている方は、ほかの国では多くの女性が重要なポジションで活躍していることを目にされていると思いますが、日本の組織（私の勤務していた外資系企業も含め）では、会議に出席している人の多くは男性です。ダイバーシティ＆インクルージョンを推進している企業では、まず女性の活用を手始めに行ってい

ます。ここで多くの方が、ダイバーシティ＝女性活用と思われているのではないですか？これはあくまでも手始めということで、同じような考え方の人ばかりがいる組織では、環境変化にも弱く、多様な価値観に対応しにくいと言われています。それ故、多様な人材を確保し、定着させることができます求められています。現在のようなグローバル化の嵐の中で、内向きで自分のことに目が向いている人が多くなっている日本は、どうやってサバイバルしていくのか危機感さえ感じます。

活動の一例として、私が参加した世界女性会議についてご紹介します。女性のダボス会議とも言われているもので、今年5月中旬の北京会議で20回目をむかえる歴史あるものです。2009年はチリのサンチャゴで行われました。チリはついこの前まで女性の大統領でしたので、開催地として手を上げました。南米諸国には女性の大臣がかなり多く、皆さんに参加されて、自国で女性のためにどんな政策を実施しているかなどが話されました。また、チリの会議には南アフリカの女子高校生の起業家が10名ほど、政府の援助で参加していました。2008年はベトナムで行われ、経済発展のエネルギーをひしひしと感じてきました。このような世界会議での、日本の存在感はあまり大きくありません。政府関係者が参加していないこともその一因だと思います。日本の女性は世界でも教育レベルは高いレベルにありながら、働く女性（企業、政治など）の割合が少なく、Gender Gap IndexのランキングではOECD諸国でも最も低いランクにあります（社会参加と政治参加のIndexが低いため）。薬学部を卒業された方はほとんど仕事を続けて社会貢献されていますが、女性が高学歴でありながらも、仕事を続ける割合が低い日本の状況を考えると大きな損失であり、女性が働き続けられる組織風土、社会環境の変革も必要だと思います。

ダイバーシティ＆インクルージョンの基本は人を尊重すること。相互尊重は自分自身を尊重して初めて、他人も尊重できるものです。また、自分と異なるものに価値があることを実感し、それを受け入れができるまで、とてつもなく長い旅です。

私は、このような機会を通じて人との関わり合いの大切さを実感でき恵まれていてことに感謝し、それを誇りを感じています。ある意味でお節介なこともありますが、これからもダイバーシティ＆インクルージョンの考え方を普及するための活動をしていきたいと思っています。

畠ちがいで 27年

水戸市議会議員
伊藤 充朗（13期）



の報酬など、すべてにおいて厚みが加えられている。

私たち議員の日常活動は、そのほとんどが市民からの生活相談である。道路整備や下水道などハードな行政課題はもとより、生活保護や就職、さらに多重債務に至るまで、まさに地方議員は「よろず相談所」である。

政治は本来、「民」が上、「官」が下であるべきであり、「官」は「民」に仕えてこそ、その使命を果たすことが出来ると言える。国・県・市町村を問わず、すべての議員がその精神に立ち、常に生活者の目線に立つ多くの議員が増えることが政治を変えるに違いないと確信している。そのため、私自身もさらに成長し、また、残された議員生活の中で、そのような政治家を育てていきたいと決意している。

略歴 前全国市議会議長会副会長
元関東市議会議長会 会長
前茨城県市議会議長会会長
前水戸市議会第53代会長

新任の挨拶

生薬学教室 教授 浅田 善久



昭和49年に製薬学科11期生として薬学部を卒業し、平成21年4月より遠藤次郎先生の後任として生薬学を担当することになりました。

当研究室では、ネパール産、ソロモン産および中国産薬用植物などより新規活性成分の単離・構造研究を行い、抗がん剤などの新規医薬品の出発物質となる化合物を高等植物より探索しています。薬用植物の中には、想像以上に複雑で変わった骨格を持つ化合物が存在しています。それらは直接薬にはならなくても、医薬品のリード化合物になる可能性があります。そうした天然物を植物より探し出し、医薬品の開発に結びつけることが出来たら良いと考えています。研究材料となる植物は、自分で採集が難しいので、共同研究者の人に海外で薬用植物を採集して頂いています。特にソロモン産植物の中には

十分に研究されていない植物があります。

まだ赴任して1年目で、十分な研究体制は出来ていませんが、研究室の学生さんと協力して早く研究体制を作りあげたいと考えているところです。



平成22年度地区交流会のお知らせ

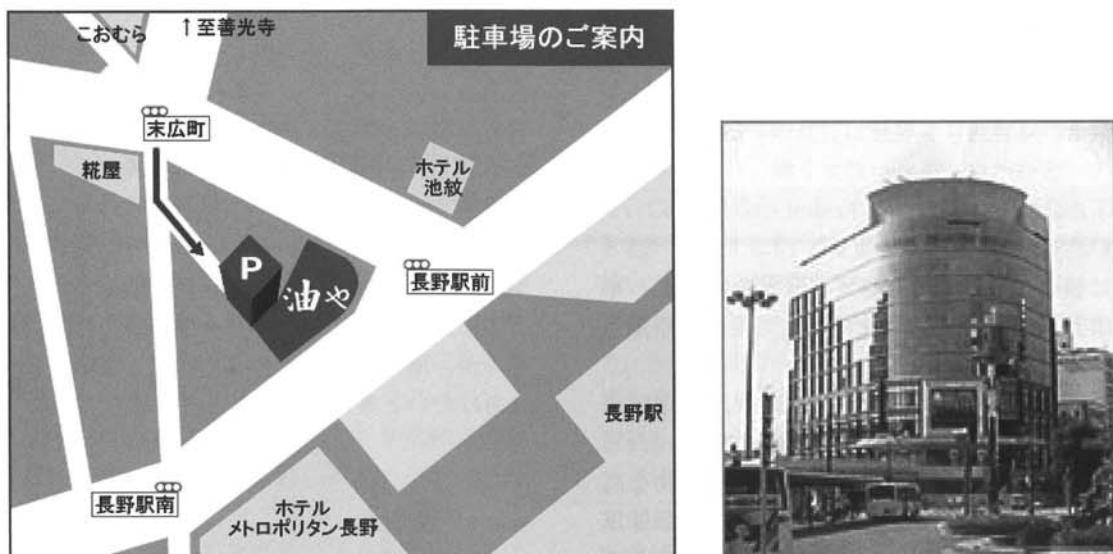
日本薬剤師会学術大会の初日に開催している地区交流会を今年度も下記のように開催しますのでお知らせします。

(同窓会のHPに掲載するとともに、日本薬剤師会雑誌の9月号にも案内を掲載する予定です。)
平成22年6月

東京理科大学薬学部同窓会

- 日時：平成22年10月10日（日）19：30～
 - 場所：宴席 油や（ウエストプラザ長野9階：長野駅善光寺口から徒歩
長野市末広町1355-5
TEL：026-226-6761
H P：<http://www.n-aburaya.com/index.html>
 - 会費：5,000円程度を予定
 - 申し込み方法：同窓会ホームページ（<http://www.ridaiyakudo.gr.jp/>）
またはFAX（氏名、卒業期、住所、電話番号を記入）

東京理科大学薬学部同窓会 事務局
〒278-8510 千葉県野田市山崎2641 東京理科大学薬学部内
(FAX) 04-7121-4531 (Eメール) iimu@ridaiyakudo.gr.jp



5期同期会報告

平成21年10月18日、4年ぶりの同期会を開催いたしました。通常はホテルで行っていましたが、学生時代の想いで「神楽坂」の地を選び、理窓会館傍カフェ・ル・コキヤージュを借り切っての集まりとなりました。44名の同期生に加わり、同窓会から石井会長のご参加を戴きました。

今回初めて参加の人、常連の人、遠く大阪・岩手からの参加の人等で会場はいつの間にか学生時代に戻り、昔の話が会場いっぱいに満ち溢れておりました。楽しい話は時のたつのも早く、貸しきり時間の2時間はアッという間に過ぎ50メートル先の2次会会場へほぼ全員が移動となって、またまた会話の花を咲かせたのでした。

今後については、自分たちの年齢を考慮して2年ごとの同期会開催にしようと決めましたので、次回は平成23

年に開く予定です。今回参加できなかった皆さん、是非次回お会いしましょう。

幹事代表 山田 高照



6期同期会報告 - 卒後40年目の同期会 - -キーワードは孫、健康、介護の3つ-

2009年、10月25日、我々第6期生は卒業後40年目の節目に同期会を開催し、北は北海道、南は高知から全部で45名が参加しました。うち女性36名、男性9名と相変わらず女性の数が多い同期会でした（入学時も女性が圧倒的に多い学年）。先生方にもご案内を出したのですが、皆さんご都合がつかないということで、卒業生だけの会となりました。

近況報告に見られるキーワードは孫、健康、介護の3つに代表されるという幹事の竹上昭氏の挨拶に始まり、薬学部同窓会会长の石井氏がお祝いに駆けつけてください

り、2010年5月16日の薬学部創立50周年祝賀会のことにも触れられました。

卒後40年ということで、若かった昔話に花が咲き、研究室ごとに一人一人近況紹介をしているうちに、あっという間の時間切れとなりました。

私たちも団塊世代のトップバッターで、生まれてから死ぬまで競争率の高い学年です。その私たちも会社勤務の人はほぼ定年退職し、自分で薬局を経営している人や現役の薬剤師の人たちはまだフルタイムやパートタイムで頑張っています。リタイア後の生活をエンジョイして

いる方は孫の世話、ボランティア（ヘルスケアに関わっている方が何名も、さすがに薬剤師ですね）、国内外の旅行などさまざまな形で社会と関わっている方が多いことに感心しました。折角薬学部を出て、命の尊さに関わる、それなりの経験を持っていい人たちばかりなので、この経験を次の世代に伝えたいものです。

6期 万年幹事 藤井 幸子

13期同期会報告 「た～まや～！」

土浦市全国花火競技大会は、全国各地で、その夏の空を彩ってきた花火大会の掉尾をかざる大会であると同時に、すべての花火師が、この日をめざして、その技術を磨きに磨いて参加する全国一の競技会です。

二年前の同期会の折、何故か、この大会に併せて、茨

城で次回の同期会をとの話が盛り上がり、昨年十月の実施となりました。

全国的にもマイナーのイメージの茨城が、JRでも高速道路利用でも、県都の水戸市まで一時間という首都圏の観光都市であることを知つてもらうための絶好の機会です。

7. 卒業記念謝恩会へ祝い金を贈呈 平成22年3月
卒業生全員に卒業記念品を贈呈
8. 同期会開催に際し、祝い金3万円を贈呈
9. ホームページのメンテナンス
10. 全国薬科大学・薬学部同窓会協議会への出席 期日未定
11. 2010年度版名簿作成準備
12. 薬学部創立50周年記念行事準備
平成22年5月16日(日)
京王プラザホテル コンコードボールルーム
13. 幹事会の開催(平成21年4月4日、7月25日、10月
平成22年1月を予定)

第四号議案 平成21年度予算案

平成21年度収支予算			
東京理科大学薬学部同窓会 平成21年4月1日～平成22年3月31日			
収入の部	支出の部		
内訳	内訳	内訳	金額
同窓会費	2,000,000	人件費	700,000
懇親会参加費	200,000	電話代(KDDI)	60,000
地区交流会懇親会参加費	200,000	諸案内状印刷発送費	1,000,000
名簿購入代	3,000	郵便代(宅配代も含む)	80,000
寄付金	12,000	講演会謝金	50,000
普通預金より繰入	1,000,000	総会経費	80,000
		懇親会費	200,000
		実践社会薬学講師謝礼	80,000
		実践社会薬学情報交換会費	80,000
		卒業謝恩会祝金	100,000
		卒業記念品代	200,000
		交際費	15,000
		同期会協賛金(5期分)	150,000
		地区交流会懇親会費	200,000
		全国薬科大学薬学部同窓会協議会費	50,000
		文具・事務経費	200,000
		ホームページ維持費	70,000
		予備費	100,000
合計	3,415,000	合計	3,415,000



第五号議案 会長承認の件

1. 幹事会において協議した結果、会長として以下の者を推薦する。

会長候補者 11期 石井 甲一 氏

第六号議案 副会長、会計、監査役承認の件

1. 会長候補者を加えた幹事会において協議した結果、副会長、会計担当幹事、監査役として、以下の者を推薦する。

副会長候補 9期 武尾 勝司 氏

13期 小高 賢一 氏

22期 安藤 秀一 氏

23期 上村 直樹 氏

会計担当幹事 11期 岡宮 智子 氏

監 査 役 19期 草本 記子 氏

22期 高井 幸恵 氏

以上の議案審議の後、菅原氏より閉会が宣言されました。続いて、第二部の特別講演では、自らががんと闘い、患者と記者の視点からがん医療の最前線を語り続けていた読売新聞東京本社記者 本田麻由美先生より「がん対策基本法 - 患者が果たした役割」という題目でご講演いただきました。薬剤師として薬学部卒業生として、いかにがん医療に立ち向かうべきかという問題を再認識させられ会場が大きな感動に包まれました。

氏名・住所・異動等変更届

東京理科大学薬学部同窓会宛
下記の変更をお知らせします。

氏名	フリガナ 姓 漢字	旧姓	フリガナ 姓 漢字
卒業・修了	薬学部 (薬学科・製薬学科) 期 年卒 (卒・研究室)	大学院 (修士・博士) (院・研究室)	
	年修了		
住所	(〒 -) 都道府県		
	現住所	(〒 -) 都道府県 TEL. FAX.	
Eメールアドレス @			
勤務先	フリガナ 名称		
	所在	(〒 -) 都道府県 TEL. FAX.	
Eメールアドレス @			
その他連絡事項	2010年度 名簿掲載について 可・否		

個人情報は 東京理科大学薬学部同窓会の規定に従い管理致します。

【事務所・連絡先】 東京理科大学薬学部同窓会 事務局

〒278-8510 千葉県野田市山崎2641 東京理科大学薬学部内

FAX : 04-7121-4531

E-mail : jimu@ridaiyakudo.gr.jp

【ホームページ】 <http://www.ridaiyakudo.gr.jp/>

同窓会名簿作成にご協力を

同窓会名簿は5年毎に住所等を最新データに変更して発行しており、今年が発行の年に当たります。住所、勤務先等に変更のある方、追加情報がある方は、同封の調査カードに記入しご返送願います。

今回の名簿も前回同様、作成費用の軽減を図るため冊子ではなくCD-ROMといたし、購入方法も事前予約方法とし、購入価格は終身会員および年次の年会費を納入なさっている「正会員」は3,000円、年会費の未納入の「会員」は5,000円と若干の差を設けさせていただきました。また、同時に名簿作成賛助金を募りますので、ご協力いただきますようお願いいたします。

※調査カードご返信時、お名前、ご住所などのご記入欄が隠れるように、個人情報保護シールを貼ってご投函ください。

なお、個人情報保護シールは、一度貼ると貼りなおしができませんので、ご注意ください。

薬学部同窓会は同窓生の会費で運営されています

薬学部同窓会の皆様、日頃より同窓会にご協力戴きありがとうございます。

また、本年も昨年に引き続き会費納入本当にありがとうございました。同会幹事一同心からお礼申し上げます。そして、本年度から新たな同窓生となられました平成22年3月ご卒業、ご修了の皆様、ならびにご父兄の皆様からも本同窓会運営に賛同を得ることができましたことを本当にうれしく思っております。

東京理科大学薬学部同窓会は同窓生から徴収された会費により運営されておりますので、今後とも、ご支援、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

平成22年度会費納入のお願い

平成21年度に引き続き、平成22年度会費納入をお願いいたします。

各会員の会費納入状況は、ふなかわら送付時の宛名の下部に記載しておりますのでご確認ください。なお、会費納入の際には、同封の郵便局振り替え用紙をご利用ください。会費は年会費2,000円(何年分でも納入できます)、終身会員50,000円です。ご寄付も受け付けておりますのでよろしくお願い申し上げます。

(終身・∞ v(^-^)v)

終身にわたり会費を納入済みの正会員の方：終身会員の方は、納入年度にかかわらず、ふなかわらにお名前を記載させていただきます。

(H××年度・済 (^-^)v)

H××年度まで会費納入済みの正会員の方：会費納入年度のふなかわらにてお名前を記載させていただきます。

(H22年度・お願い m(_ _)m)

H22年度会費 未納の会員の方：よろしくお願い致します。



平成21年度 会費納入額詳細 (平成22年3月31日現在)

	年会費納入		終身会費納入		寄付金		合計金額
	金額	人數	金額	人數	金額	人數	
平成21年度卒業・修了者	72,000	4	432,000	15	0	0	504,000
既卒者	174,000	45	1,150,000	24	20,000	3	1,344,000
合計	246,000	49	1,582,000	39	20,000	3	1,848,000

薬学部同窓会会員数 (平成22年度3月31日現在)

	会員登録数	終身会員	年会費会員
卒業生	8,373名	1,671名	911名
大学院修了生	196名	15名	5名
合計	8,569名	1,686名	916名

会員登録数：創立50周年記念にあたり記念誌に基づき補正を致しました。

47期 平成22年3月卒業生は生命創薬科学科 103名



16号館（平成21年夏完成）



注射剤調剤実習

東京理科大学薬学部同窓会へのお問合せ

【事務所・連絡先】

東京理科大学薬学部 同窓会事務局

〒278-8510 千葉県野田市山崎2641 東京理科大学薬学部内16号館 1F

FAX : 04-7121-4531

E-mail : jimu@ridaiyakudo.gr.jp

*FAX番号が変更になりましたので、ご注意ください。

【ホームページ】

<http://www.ridaiyakudo.gr.jp/>

行事などに関するご案内など掲載しておりますので是非、アクセスしてみてください。

編集後記

今年の春は、3月中旬から下旬は夏日もあったほど暖かな日々が続きましたが、4月には一転寒さがぶり返し、中旬には何十年ぶりに雪が降り、農作物の生育に遅れがでて春野菜が高騰しました。しかし、ゴールデンウイークは何十年か振りですべて晴天となり気候もやっと安定してきました。

昨年は新型インフルエンザでマスクの品切れや海外旅行にも影響が出ましたが、今年はアイスランドでの火山の噴火による火山灰の影響でヨーロッパの空港の閉鎖が相次ぎ大混乱しております。

沖縄の普天間基地移転問題が一向に進展せず政治が不安定となり、宮崎県では口蹄疫の感染拡大防止のため10万頭を超える牛が処分され、ギリシャの財政赤字でユーロ安、円高で国際経済の不安定が増しております。

年末にはこれら問題が解決され穏やかな日々になってほしいものです。

平成22年度 幹事一覧

小原	侃	(1)
黒崎	浩巳	(1)
山口	堅志郎	(1)
生田	安喜良	(2)
鈴木	政雄	(3)
中村	洋司	(3)
池田	幸雄	(4)
宇留野	強	(4)
柏木	敬子	(4)
山川	洋志	(5)
山田	高照	(5)
湯田	康勝	(5)
植木	清一郎	(6)
藤井	幸子	(6)
石井	賢二	(7)
寺山	博行	(7)
松岡	隆	(8)
奥村	成太	(8)
尾武	勝司	(9)
中島	敏夫	(10)
原石	しげ子	(10)
井安達	啓子	(10)
石井	順一	(11)
小暮	甲一	(11)
岡宮	涉	(11)
富秋	智子	(11)
向井	英志	(11)
澤金	呈一	(11)
犬飼	幸江	(12)
島飯	陽子	(12)
端田	典典	(12)
濱野	敬朋	(12)
波田	朋子	(13)
伊藤	佐和子	(13)
伊藤	充朗	(13)
小高	昭子	(13)
田村	賢一	(13)
崎岩	哲彦	(14)
林石	修	(14)
林木	文由	(14)
畠中	譲	(14)
菅原	典子	(14)
和田	伸治	(15)
日向	浩志	(15)
遠藤	章太郎	(15)
閑田	健治	(16)
田畠	真紀子	(16)
今渡	新	(16)
渡部	和枝	(16)
青山	敏行	(16)
渡辺	直子	(16)
小嶋	隆夫	(17)
小松	宏二	(18)
野飯	知夫	(19)
吉田	俊哉	(20)
安藤	直子	(21)
磯部	雅人	(21)
小川	秀一	(22)
永井	総一郎	(22)
高井	政彦	(22)
和田	健二	(22)
柏田	幸恵	(22)
北嶋	和裕	(22)
上村	みどり	(22)
伊集院	晶子	(23)
小林	直樹	(23)
閑根	一成	(25)
若松	寧	(26)
前田	靖之	(26)
大瀧	正克	(26)
神谷	真	(27)
内村	充	(29)
水	貞皓	(29)
佐々木	兼一	(30)
高橋	八壽裕	(30)
佐々木	香織	(30)
野村	未明	(31)
松井	正大	(32)
小島	香織	(34)
金井	洋子	(34)
浅井	昌德	(34)
遠藤	亮介	(37)
大久保	将	(37)
澤井	咲智子	(39)
高橋	有香	(40)
今関	美里	(40)
杉野	智至	(40)
永井	友佳	(43)
森脇	由香里	(43)
石坂	弓子	(43)
	恵子	(43)
	隆史	(大学院)